

【CO2削減対策】純酸素バーナー回転式溶解炉の導入

CO2削減効果	2150 t/年 …… 冷風キュボラから材料予熱回転炉へ 年6,000t稼働で算定 従来比 73% 削減可能 (冷風キュボラからの比較)
---------	-------------------------------------------------------------------------

【改善内容】

ガスを燃料とする回転式溶解炉を採用することによって、溶解時に発生するCO₂を大幅に削減することが可能である。

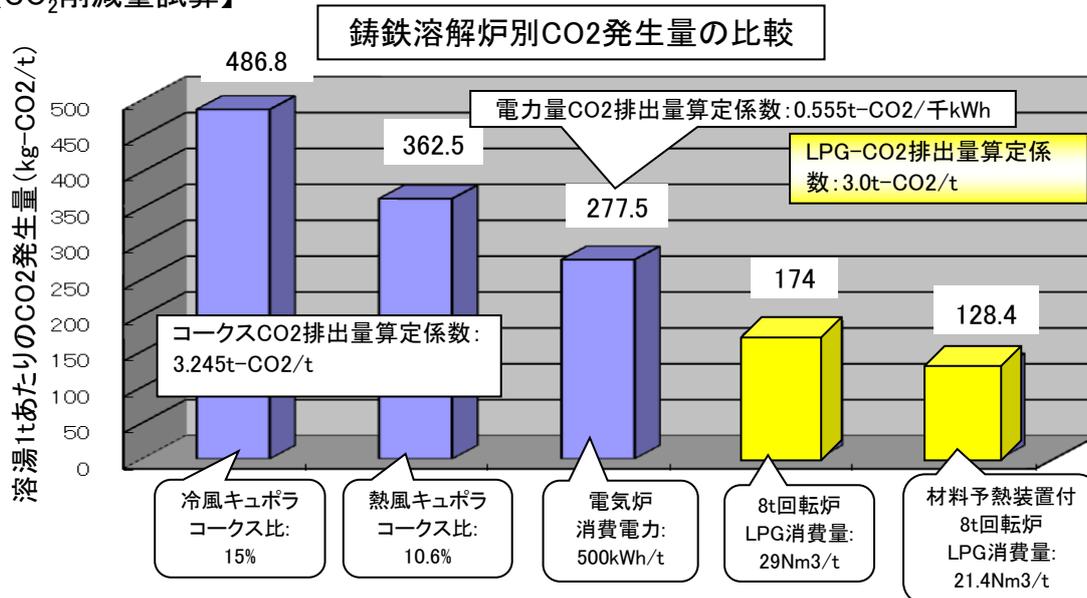
①従来の方法

鑄鉄溶解炉は、現在キュボラと電気炉がその大半を占めていが、近年CO₂削減や環境面の観点から、キュボラから電気炉へ移行するケースが見られる。しかし、今後さらに原材料 事情が悪化する中、電気炉には材料の制約があり、コスト、溶湯の品質確保の面において数多くの課題が残されている。

②改善方法

ガスを燃料とした純酸素バーナー回転式溶解炉を採用することにより、大幅なCO₂削減が見込める他、粗悪な原材料に対して精錬作用があり高品位の溶湯を得ることが出来る。

【CO₂削減量試算】



【適用の条件、付随効果等】

- ①材料予熱装置の設置でさらにCO₂削減、溶解コスト低減、廃熱回収装置の追加で工場内トータルCO₂削減を実現
- ②溶解材料を選ばない、高品位溶湯溶解炉
- ③環境にやさしいクリーンガスエネルギー溶解炉

